

刊夕 日一廿月八

常警每日新聞

定価(通函) 一月五拾五圓 郵費五圓
廣告料五圓 十二字第一行五拾五圓
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社

う蘭盆縁起と 施餓鬼經の話

真繼 雲山

二、目連尊者の一代記
それから孟蘭盆の縁起となつたところの後段に説く亡母を餓鬼道の苦患から救ふたといふ事蹟があるのであります。後にいたり宿業に報はれた最後を遂げることになりました。それは裸行外道の執杖覚志といふものが、目連の名勢を嫉み佛敎が盛んに流行するのは偏へに彼れのためであると

厚く目連を弔はれたといふこととあります。
三、孟蘭盆縁起の物語り
さて孟蘭盆は、どういふ縁によつて生れたかといふことを申しあげます。佛門に入り、道を成就してみますと、それを自分の胸一つ

明日の献立

- 【朝】 紅茶 パントースト バイナップル
- 【晝】 つけ焼き半べん 野菜サラダ 人参 玉ねぎ 馬鈴薯 胡瓜 トマト 鹽豚
- 【晩】

亡きものしやうと迫りましたが果さず、目連が王舎城に行乞してゐるところを多勢をもつて要撃し、三度目にとつて、瓦石を以て亂打し、路邊の草中に投じて

ノート

電話電話 ジャナー ル誌に依れば世界一を誇る紐育市の電話總数は約百五十七萬十人に二個の割合である

去りました。目連は骨くだけ、肉たれて瞑目しました。阿闍世王これを開くや彼の外道を刑に處し、佛は竹林精舎の門邊に塔を建て

短歌

栗原 茅村

に藏つておくことは本意でない。何んとかして、そのよるこびを人にも傳へたいといふことなるのでありませうが、分けても父母の養育の恩に想ひ到るのは尤もな筋道と考へられます。
目連尊者は、もとより至孝の人でありましたから、祇園精舎において初めて神通力を得るや、先づ、先は亡き父母を濟度して、その生んで下された恩、育て、下された恩——この二つの大きな恩に酬ひたいと念願しました。そこで道眼を開いて十方世界を見渡しますと、父親の方は樂處に生れて別段の勞苦はありません

でしたが、母親は、さても悲しや、その死後、餓鬼道に墮ち、皮骨連立とあつて骨と皮ばかりの淺ましい姿と成り果てゝゐました。目連あなやと悲嘆のあまり、定めし空腹であらうと、直ちに鉢の中に飯を盛り、母のものは馳せ捧げました。やれ嬉しやと受け取つた母人は、左手に鉢を持ち、右手に飯をつかんで口中に入れやうと致しますと、なんと不思議や、その飯は忽然として猛火と化し、炎々たる焔の勢ひは近づくとあつりませぬ。母は泣き叫んで鉢を投げ、目連もまた驚き悲しんで、釋尊のもとに馳せ歸り「わが母を救ふて下されよ」と教へを請ひました。

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

八月二十三日より三日間(舊十四、十五、十六日) 今秋冬の新流行 吳服大陳列會 江戸づま、丸帯、錦紗小紋、繪羽織、銘仙 平 町 三井吳服店

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科 レントゲン科
耳鼻咽喉科 平町田町 電話五一三番

佛壇 位牌 佛具 特賣

早い目が御得です。品種豊富、選擇御自由、
平町三丁目三六(北裏)
漆器 佛具 卸商 共榮漆器店 雜貨

開業 川井内科診療所

川井内科診療所 平町南町六五(舊居) 電話二四三番

蓄音器のレコード交換所!!!

並に新古レコード販賣所開設!!!
皆さん今迄御持ちの聞きあきたレコードを取り換へてあげます
高價な壹枚のレコードの價で幾枚も御樂しみが出来ます
交換料は別に定めませんが壹枚最高五十錢最低十錢位です
レコード用針は特に大勉強致します
平町前貨物ホーム入口

正金商會出張所

出張所 電話(呼出)三〇三番 本店 七丁目電話三九〇番
父白鴻院新盆佛事上小川村生家に於いて相營可申候處誠に勝手乍供物一切辭退申上候
白井 一郎

淨國院新盆に相當候處甚だ勝手がましく候へども提灯その他供物等一切御辭退申上候間御諒承願上候
平町鍛冶町 施主 國府田直良

土用荒れの激浪

仲の作突堤破壊

一時工事を中止したが 昨日辛ふじて排水作業

既報本年度工費七萬五千圓の江名町仲ノ作漁港は目下東側船溜工事の爲め防波堤を締切つて陸掘り作業中であつたが去る十八、九の兩日土用荒れの激浪は防波堤を越へて締切突堤約十五間を破壊し作業場に侵水した爲

販賣利用惣代人

昨日各町村一齊に改選

正午迄判明の分

既報石城販賣利用組合は昨日午前九時より各町村役場に於いて組合惣代人廿名の選挙を行つたが本日正午迄判明せる當選者左記十六氏である

- (平町) 三十票 大谷要次郎
- (同) 二十票 丹野修一郎
- (好間) 一二票 成信吉 (四倉) 四一 小港平治郎 二
- 四植田萬治郎 九大和田安太郎(草野) 二七芳賀元治 一六渡邊三之助(高久) 二八本間武(赤井) 松崎松太(大浦) 片寄市重 渡邊金治 高崎金治郎 (江名) 加澤一造(双葉郡大塚) 吉田平造 小野谷幸一

東日主任來任

既報東京日々新聞平通信主任

め遂に一時工事を中止し五百圓の損害を蒙つた平土木監督所では昨日技手工夫等を多數派遣して排水作業を行つた結果昨夜緊急工事を施し本廿一日より再び入夫を繰り込み陸掘り作業を開始した

種羊貸付

農林省から

渡邊村の永山定夫氏は豫てより農林省に種牡細羊の貸付方を申請中であつたが此程認可され近くコリコール種牡細羊一頭を貸與される

小麥共販

前回同値の 好成績にて

石城販賣利用組合は本廿一日午前十時より第二回小麥

新聞をどう見る?

平商夏休中の新宿題

今夏休中の課題として四、五年生に對し郷土の産業調査を課した平商では更に「新聞の見方演習」を此程の召集日に宿題として課したが右は社説について最も強い印象を受けたもの、要点と所感、其他重要な政治外交、經濟の諸問題、社説

齊藤農場長講演

神谷農事試験分場長は来る

廿九日より三日間信夫郡庭坂村果樹組合主催の講習會に講師として出席する

庭球選手出發

既報来る二十三日平驛午前八時十九分で出發する筈であつた平商の關東北、北海道中等學校庭球選手權出場選手

女子同窓會への

出席希望者は申込まれよ 至急準備の都合がある由

既報来る二十五日(舊十六日)午後一時より第二小學校講堂に於て開催される女子同窓會の出席申込者は目下の處百餘名あり當日は篠山第一校長の講演及び同校児童の仕舞舞踊等ある外

キヤラメル王の 宗教觀期待さる

廿六日の夜は超満員か

既報来る二十六日午後七時より平材木町バプテスト教會に開催されるキヤラメル王といはるゝ森永製菓株式會社社長森永太一郎氏が老嫗を提げ「我は罪人の首なり」の演題の下に自己の体験に徴せる宗教觀を熱叫ばれる事として一般の期待頗る根強きものあり來聴者が多數詰め掛けるであらうと見られてゐる

大浦軍人選手

村在郷軍人分會では来る九月二日執行される石城分會主催第七回武術大會の出場選手を左の如く決定した (射撃) 小林三郎 根本三 左衛門(銃劍術) 大樂忠利 坂本誠(軍刀術) 根本要一 大谷吉直

平町人事

- △古銀治町阿部吉藏氏長男 孝長
- △彌宣町五八 當時好間村 字椎木平鈴木深治郎氏長男 繁
- △神奈川警足柄郡宮城野村 勝侯千之助氏(四六)四丁 目二五村上タケ(三五)
- △東京市芝區中川前町二 鶴田武三氏(三二)二丁目 五八猪狩マサユ(二七)

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

親切に 料金は極めて低廉で 妊産婦の御家庭 お留守居番 御病人の付添 炊事や雑用 年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二三番)

上原家政婦會

會主産婆上原通子

耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

山内醫院

病室完備 自炊便有 醫學士 山内亨 吉

店主が	店員	を	連れ	て	行
正	正	正	か	を	連
シ	シ	シ	れ	れ	て
イ	イ	イ	る	る	行
酒	喫	食			
場	茶	堂			
平・田町					
レスト					
サロン					
電二五三番					

一少年が着衣の儘

飛込み姉妹を救ふ

平署の耳に入り近く表彰

高久村大字下高久字前ノ内桶職藤之助三女片寄コト(九)は去る十三日午前十時頃友達七名と同村字瀧前水門で水泳中思はず深所に陥り悲鳴を挙げたので傍らで見つ居た妹ナミ(八)さんが着衣の儘飛込み救助せんとして力及ばず兩名共危く溺死せんとしたのを通り合した同村字馬場農興作三男猪狩典平(一)同難貨商定與二男猪狩充(二)の兩名が着衣

此處にも

溺れ子救助

川前村村上さつさん及び山中利平氏は去る八日同村夏井川に於て渡邊英子(四)さんが危く溺死しかかったのを救助此程本縣畑山知事から表彰された

力作の盤景を

鶴若女史指導の許に

伊關吳服店内に陳列

平盤景研究會員は斯道の研究の爲東北の第一人者と推奨さるゝ仙臺市鶴若錦川女史を招ぎ豫てより藤田女學校に於いて同女史の指導教授を受けつゝあつたが明日より四日間全員の力作品を一丁目伊關吳服店内に陳列一般の鑑賞に當てる由にて舊盆祭りの市内が賑つて居る折柄として一般行人の眼を引き好箇の見ものとして宣傳される事であらう

才判所義捐金 平區

裁判所檢察及び書記一同は

諸訓導は九月初旬四丁目マールトモホールに於て夏季練習作品展覧會を催す事になり目下準備中であるが尙當日は兒童の優秀作品も出陳

海濱荒し

高飛びして捕る

本月初旬小名濱町の避暑客荒し犯人は犯行の口から信失部飯坂生れ窃盜前科六犯菊地富次郎(三)の處爲らしいと目星をつけ捜査中犯人は巧に警戒網を潜つて逃走したので縣下各地警察署に手配せる結果昨夜伊達郡梁川署に檢舉された由

ラヂオ機寄附 勿來

町升田屋吳服店、鈴木洋服店、鈴木定助、小林辰次郎、田口佐平、小野爲次、青天

十七の少年には

大膽過ぎる詐欺

店頭の錢箱を奪ふ

昨日午後九時頃平驛待各室で舉動不審の少年を平署員が怪しむ本署に引致取調ると同人は双葉郡川内村字上川内炭燒業遠藤重春(七)

明日のラヂオ
廿二日
天 氣 豫 報
今晚も明日も南西の風晴曇半す

- 今晚の部
- 後六〇〇 子供の時間 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
 - 後六二五 趣味講座「奥羽の山岳」 小川 暢
 - 後七三〇 獨唱と二重唱

目信太郎の諸氏は此程同町小學校にラヂオ機を寄附したと

今度は平病舎で

キ印大暴れ 止むなく再び

平署へ逆戻り

「俺様は警務課長だ」と突然平署に現れて署員の度膽を抜いたキ印神谷村鎌田の大工野口作次郎(三)は昨日留置場の鐵棒二本を引抜いて荒はれ出し手の付様がない處から己むなくポンプを出動水攻めにし漸く取押へたが自宅に留置室を造る迄の條件で一先づ町の行路病人收容場に入れ頑丈に戸締りして置いた處本日午後二時頃激しい残暑に耐え兼ねてが突然暴れ出し再び破壊工作を開始したので急報に接して驚いた署員數名が走せ付け手足を縛し又々平署

鍛冶町火防組 平町

鍛冶町青年火防組では組長高野満次郎氏が任期満了の爲め此程改選の結果仲町小松崎子之吉氏が當選した

鹿島學校 合併解決

去る大正十二年以來紛糾してゐた鹿島村の小學校合併問題は最近志賀村長の眞劍

- 氣象通報 番箱豫報
- 明日の部
- 前六、三〇 夏期英語講座(二の五) 高垣 松雄
 - 前七、二〇 聖典講義(九) 高島 米峰
 - 前七、四〇 六年生のおさらの時間 國史(第二) 齋藤 養治
 - 前八、〇〇 國文學講座(博) 小倉 博
 - 前九、一〇 料理献立 濱田政太郎
 - 前一〇、三五 家庭講座

坑夫落盤即死 湯本町字八仙坑夫長屋十八の九居住入山炭礦夫菅野初邦(四)は昨日午後六時頃第六坑内で作業中落盤の爲め即死した

裁判所たより

△錦村大字中田字須賀八目下住居不定前科二犯坂上林兵衛(三)が勿來町大日本炭礦勿來坑に炭礦雜夫として雇はれ中去る十二日勿來町大字酒井字出藏二〇勿來坑労働合宿所原玉市方で同人所有の金鎖付金側懷中時計一個(價格百二十圓)並に現金約十五圓在中の財布一個を窃取した事件は今二十一日午前十一時より才判

木村科醫院

平町六丁目橋際
電話三〇九番

所で香西判事係り吉岡檢事立會の下に公判開廷事實訊問の上檢事より懲役一年を求刑されたが判決言渡しは明日午前九時である

浮名の町調子 新音頭

(編輯上陸及上野)

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

梅野の身の上話

…一五…

「外ではないが、藤吉さんは知つて居なさる、峠から此方へ来る時に首を縊らうとした女を助けて、段々聞いて見ると、大和郡山森の浪人で、中西藤助と云ふ人の女房、亭主が三年も眼病で煩つて脇差を三兩で賣つて、その金をチボに取られて申し譯がないから死ぬとのこと故、五兩の金を恵んでやつた、かうやつて藝妓買をし居れば、二十や三十の金子は直ぐなくなつてしまふ、そんな無駄な金子があるなら、さういふ者に恵んで置けば陰徳の一にもなるから、俺は明日少しばかりの金子を持つて峠の中西藤助さんのところへ、病氣見舞に行つて遣らうと思ふ、それに就ては有志の面々は米一合でも半紙一帖でも、何うか恵んで遣つて貰ひたいもんだが何うだ」

「それやアどうも好い考へでございますから俺も行きますせう」
「俺も行きますせう」
と大分同意の者が出来たが、帆柱の伊之助が

「兄さん少し待つて呉んなさい俺もさういふ口をあ

るから行つて貰ひたいんだ近頃渡邊橋を通り掛つて来ると、小石を拾つて袂へ入れ身をなげやうと云ふ女があつたから、取押へて見ると、天満の天神の裏門の大

んだと云ふから五兩の金を遣つて、その女を助けて遣つた、同じ様な話だが天満の大工町へ行つて遣ひたいが何うだ」
と云ふと鹿島の番頭倉吉と云ふ人が
「イヤ少し待つて下さい、私もさう云ふ口がある、此の間俺が千日前へ来ると、首を縊つて死なうとした女があつたから助けてやつたが、何うも同じやうな話ではないか」



工町に居るもので、夫婦の中に子供が三人あつて阿母さんが一人亭主に阿母さんに子供が三人抱膝で煩つて居りまして、親類へ金を算段に行つて、漸う五兩の金を借りて今気が注いで見るとない、家へ行く譯には行かないから身を投げて死

「さうか俺の助けたのは晝間だから能く知つてゐる、背の小柄な女だが伊之助お前の助けた女は……」
「イヤ俺の小柄の女だ」
「年は三十一……」
「さうだ三十一で、色の淺黒い……倉吉さんののは私のもさういふ女でござ

います、私は覺ふて居りませんが、左の小鼻のところには黒痣がある女でした」
「俺も月夜差で気がついたが、黒痣がなつた、そりやア私達一杯その女の手に掛つたんだそんな憐つばい話をしやアがつてそれを稼業にして居る奴だ」
「そりやア残念なことをしたなア」
と云ふと長兵衛の最負にしてゐる梅野が、ワツとばかりに泣き伏した。

「梅野どうした」
「ハイ……今日はお話し申さうか、明日はお話し申さうかと思つて待つて居りましたが、何をお隠し申しませう、妾は中西藤吉の妻梅と申しますもの、良人が三年眼病で難澁いたし先祖傳來の腰の物を賣拂ひたいと申しますと、大阪中の島の萬屋利兵衛といふ質屋の主人、手代を二人連つて妾方へ参りました」

● 店員募集

年齢十五、六才、希望は至急来店あれ

玉屋洋品店

平町町通電話六五六番

● 季節鳥料理 ●

やな川

はぎ

魚榮へ

平町町 電話四二四

配達迅速

かつを

塩から

魚問屋

店理代平命生本日本大最優最

榮盛賀志

(三一二電)目丁四平

外科 X 光線科

性病科

外科

安齊外科醫院

平町町

電話四七五番

入院隨意

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮温湯

丹波博士創製セキドメ

たんぼあめ

うまくてセキカヨクトマ

靈藥ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿康藥舗

縣社ノ下 電話四四番

ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したものを切らずに癒る